

(妹尾教育長) 妹尾恵美委員を教育長職務代理者に指名する。

4. 議 事 なし

5. 協 議 なし

6. その他

(1) 令和2年度当初予算の概要について

(教育総務課長) 資料により説明。

(学校教育課長) 資料により説明。

(就学前教育課長) 資料により説明。

(社会教育課長) 資料により説明。

(野田委員) トップアスリート・トップアーティスト招聘事業は、年によっては、例えばスポーツ関係だけになる年もあるのか。

(社会教育課長) 事業がわかっていたときは、トップアスリートは、ほぼ例年同じ事業の申請があり、だいたい金額が固定されているが、トップアーティストは幅があり、全額補助出来ず、8割補助になることもあった。一緒にすることで、予算が流動的に使え、満額に近い補助ができるようになると考えている。

(2) 令和2年度玉野市立保育園・認定こども園・幼稚園・小・中・高等学校入学者の状況について

(就学前教育課長) 資料により説明

(学校教育課長) 資料により説明

(妹尾委員) 保育園の待機児童8名はどういった対応をしたのか。

(就学前教育課長) 待っていただいている状況である。8名の方は、たちまちすぐという状況にはない方である。早く保育士の確保をして入園につながるようにしたいと考えている。

(野田委員) 後閑小の教頭配置は、年度途中で29人になった場合はどうなるのか。

(学校教育課長) 法律上は5月1日であるが、岡山県は、始業式が学級決定日としているので、その日で決定される。

(野田委員) 八浜中学校が入学者が28人、1クラスになったのか。大崎と八浜を合わせてもこれだけか。

(学校教育課長) これまでも1クラスになることもあった。八浜地区は学年によ

って少し差がある。

(妹尾教育長) これを見ると、教育委員会としてどうしていくか考えていなくてはいけない目の前の課題である。今年度そういう話もいくらかきいていかなければいけない。
またご報告させていただきたい。

(3) 玉野市内高等学校における入学者選抜実施状況について

(学校教育課長) 資料により説明

(野田委員) 商工高校は、これだけ少なくなった原因をどう分析しているのか。

(学校教育課長) 中学生の数が減っていることや、岡山市内も子どもが減ってきており、市外から入学を希望する生徒も減ってきている。また、私立高校へも学費面で入りやすくなっていて、市外からわざわざ玉野商工高校へ入学する数が減ってきている。

(4) 新型コロナウイルス感染防止対策の中での学校再開について

(学校教育課長) 資料により説明

(野田委員) 今まで学校が休みになって子どもの変化、困ったことや虐待などについて報告はないか。

(学校教育課長) 各校には毎週末には、様々な面で配慮が必要な子どもなどに対し、学校がどのような対応をしたかを報告させるようにしている。各校とも電話連絡や直接子どもに会うなどを状況に応じてやっており、困った状況にあるというような報告は聞いてない。

(野田委員) 子どもは毎日マスクをつけて登校するのか。

(学校教育課長) 基本的にはマスクをつけることとしている。ただ、マスク不足の中強制はできない。マスクしていないからといって、学校からの配布はしない。

(野田委員) 本日、臨時校園長会を開き、様々な指示をしていただくことになっているが、管理職だけがわかっているのではなく、毎日子どもに接触する先生がどれだけ意識を持ってやるかが大事なので、徹底するように伝えてほしい。子どもたちには自分がもし感染していて祖父母にうつったら大変なことになるということを小学生からしっかりいい聞かせて欲しい。

(妹尾委員) 給食の時の対策はどんなふう考えているか。

3月中はこまめに連絡やメールが入っていたが、4月になって連絡がなくなったので、心配している保護者がいる。始業式・

- 入学式について不安な保護者もいるのでメールなど入れて欲しい。
- (学校教育課長) 給食については、十分なスペースをとって、向かい合わず、静かに食べる。配膳は手洗いなどを徹底することとしている。
- (妹尾委員) 授業中は一定間隔を保てると思うが、休み時間とかは難しいのではないか。
- (学校教育課長) どこまで子どもたちに、今の状況を理解させ徹底できるかだ。
- (妹尾教育長) 消毒についてはアルコールの量が足りないというところは、塩素系のものでも効果があるということなので、どうしてもアルコールがないところは塩素で対応するようにしていけないと考えている。
- (加藤委員) 今、とても大変な時期だということを集団で学ぶいい機会である。始業式からの1週間はとても大事な時期だと考える。学校教育の必要性を非常に感じている。
マスクの作り方をホームページに掲載して、みんなができるような形にして欲しい。感染しない、感染させないようにするための行動をとるアピールになるのではないか。反対にマスクをしていないからといっていじめられることのないようお願いしたい。
実施体制が整わない状況に当たらなくても、健康診断はどうしてもこの時期にシなくてはいけないのか。
- (妹尾委員) 健康診断は6月30日まででなくても2学期くらいまでにやればいいのかと思うがどうか。
- (学校教育課長) 国は、実施体制が整わないのであれば、年度内でよいことになっている。実施体制が整わないというのは、問い合わせをしたところ、現時点の東京のように医療崩壊が起きていて医師が来れない状況ということである。県教委としては、1年間の中で、子どもの成長を測るものであるため、実施できる状況であれば実施するよということだが、やってないからといって駄目だということにはならないと思う。医師からも問い合わせが入っている。
- (妹尾教育長) ご意見を聞きながらやり方は検討する。
- (野田委員) 地域の方や保護者の方から、学校を再開するなという声はないか。
- (学校教育課長) 何件かは入っている。噂が蔓延しているため不安に思っている人はいる。

- (妹尾教育長) 状況が変われば違うが、今のところは感染が拡大してないということなのでやる方向だ。
- (学校教育課長) 3月27日からほぼ2週間の経過であるが、様子を見ながらということになる。基本的には保健所の指導を考慮しながら考えている。
- (妹尾教育長) 前日に保健所に確認することにはなっているようだ。そこで保健所が特に何も指示しなかったということであれば一つの理由になると思っている。慎重に進めていきたいと思う。

次回、教育委員会は令和2年4月24日（金）15：30から第1委員会室で開催するので参集願います。以上で、第6回教育委員会を閉会します。

会議録調製者	書記	清山 智保
会議録署名委員	教育長	妹尾 均
〃	教育長職務代理者	妹尾 恵美